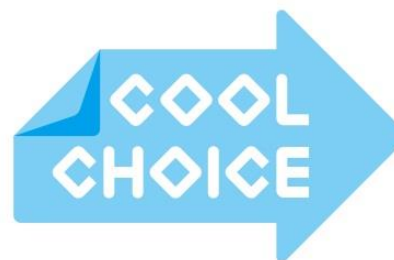


ワークショップ 共感を集めるためのSDGsストーリーづくり



未来の
ために、
いま選ぼう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国際連合広報センター

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

ワークショッププログラム

目標：自身の取組とSDGsの関わりについて共感をもって聞いてもらえる物語を考える

●SDGsとのどんな関わりを物語にするかを考える

- 自身の取組とSDGsの関わりの確認
- その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える

●共感する物語を考える

- 活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える
- 誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえるかを考える
- 考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる

●物語を発表(3名程度)

SDGsとのどんな関わりを物語にするかを考える

SDGsワーキング用シートを使用⇒



○自身の取組とSDGsの関わりの確認(5分)

(記入していない人は記入、記入してある人はそれを確認)

- ・自分の取組を四角の中に記入する。
- ・U字ワークシートを記入、関連のあるゴールと線を引く。
- ・なぜそのゴールと関連するかを記入する。

○その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える(10分)

- ・ワークシートに考えた説明内容を記入する。
- ・取組内容⇒貢献の理由(なぜそのゴールに貢献するのか)
⇒貢献するゴール

自身の取組とSDGsの関わりの確認

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター提供
SDGs 17 ゴール・ワーキング用シート No. 2

テーマ: X博士の子ども省エネ・SDGs教室

内容（取組など）
学校や市民イベントで、X博士に扮装して〇×クイズとゲームの省エネ・SDGs教室を実施

子どもに対する教育
子ども達の笑顔

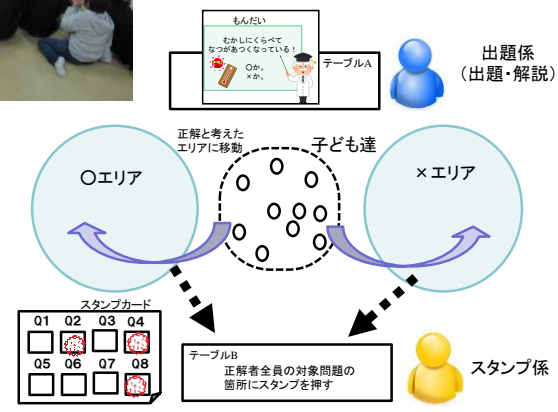
外来種問題啓発
プラスチック汚染
環境問題とSDGs教室
海外へ発信するSDGs教室

1 貧乏
2 飢餓
3 アプローチに
4 質の高い教育
5 ジェンダー平等
6 安全な水とトイレ
7 持続可能なエネルギー
8 豊か
9 産業と雇用
10 人や国の不平等
11 住み続けられる
12 つくる責任
13 気候変動
14 海の豊かさ
15 陸の豊かさ
16 平和と公正
17 パートナリシップ

自分の取組を四角の中に記入する。



X博士の〇×クイズ



U字ワークシートを記入、関連のあるゴールと線を引く。

なぜそのゴールと関連するかを記入する。

その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える

ワークシートに考えた説明内容を記入する

例

EFO 中部 / 中部地方 ESD 活動支援センター提供
SDG s 17 ゴール・ワーキング用シート

テーマ: X博士の子ども省エネ・SDGs教室

内容 (取組など)
学校や市民イベントで、X博士に扮装して〇×クイズとゲームの省エネ・SDGs教室を実施

子どもに対する教育

女子の活躍

外来種問題啓発

プラスチック汚染問題啓発

省エネ・SDGs教室

CHOCESを使った

〇取組内容
子供たちに対する温暖化防止を中心として環境教育を実施。地球にやさしい行動を選ぶことの重要性を楽しいクイズやゲームで啓発する。

〇貢献の理由
子どもたちが自分の行動と地球との関わりに気づき、地球にやさしい行動をとるとともに、家族に体験を話すことで考え方が広がることを期待できるから。

〇貢献するゴール
4. 教育、12. 作る責任・使う責任、13. 温暖化対策

〇取組内容

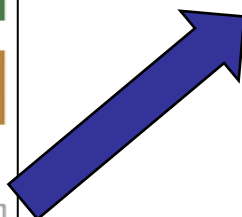
子供たちに対する温暖化防止を中心として環境教育を実施。地球にやさしい行動を選ぶことの重要性を楽しいクイズやゲームで啓発する。

〇貢献の理由

子どもたちが自分の行動と地球との関わりに気づき、地球にやさしい行動をとるとともに、家族に体験を話すことで考え方が広がることを期待できるから。

〇貢献するゴール

4. 教育、12. 作る責任・使う責任、13. 温暖化対策



共感する物語を考える

物語ワークシートを使用⇒

物語ワークシート(共感する物語を考える)			
SDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公			
幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献するSDGsゴール	
物語を話して誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえそうか			
物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえないかどうか、その理由
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる)			
物語を話す対象			
選んだ物語の主人公			
主人公が困っていたこと			
困っていた原因			
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずのこと)			
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか			
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか			
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか			

○活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える(5分)

○誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえるかを考える(5分)

○考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる(15分)

活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える

物語ワークシート(共感する物語を考える)

SDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公

幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献するSDGsゴール
あるお母さん	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物の大切さがわかってもらえない	4. 教育、12. 作る・使う責任、13. 温暖化対策
地球	温暖化が進行している	13. 温暖化対策
北極のシロクマ	温暖化が進行して、生息環境が悪化している	13. 温暖化対策、14. 海の生態系、15. 陸の生態系

物語を話して誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえそうか

物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえるかどうか、その理由

例)ゴール11:海の生態系の場合

- ・魚が取れなくなって困っている漁師
- ・海岸が汚れて遊び場がなく悲しんでいる地元の子ども
- ・仲間がビニール袋を食べて餓死してしまうのを見たウミガメ
- ・実際に困っている人を(仮名で)登場させてもよい

主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公)

物語を話す対象		
選んだ物語の主人公		
主人公が困っていたこと		
困っていた原因		
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと		
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか		
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか		
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか		

誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえるかを考える

物語ワークシート(共感する物語を考える)

SDGs のゴールに貢献すると幸せになる主人公		
幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献する SDGs ゴール
あるお母さん	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物の大切さがわかってもらえない	4. 教育、12. 作る・使う責任、13. 温暖化対策
地球	温暖化が進行している	13. 温暖化対策
北極のシロクマ	温暖化が進行して、生息環境が悪化している	13.温暖化対策、14.海の生態系、15.陸の生態系

物語を話して誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえそうか			
物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえるかどうか、その理由
あるお母さん	PTA など子育て関係者	○共感する・共感しない	自分と同じ立場なのでわかりやすい
地球	保育園の先生	共感する・○共感しない	対象が大きすぎるので小さい子にはわからない
北極のシロクマ	保育園の先生	○共感する・共感しない	子どもはシロクマが好きだから積極的に参加するに違いない
		共感する・共感しない	

主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGs への貢献で幸せになる物語を作ってみる)		
物語を話す対象		
選んだ物語の主人公		
主人公が困っていたこと		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が説明したい対象は誰か ・共感してくれそうな人は誰か ・主人公の物語を聞いてくれそうなのは誰か
困っていた原因		
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと		
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか		
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか		
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか		

考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる

物語ワークシート(共感する物語を考

SDGsのゴールに貢献すると幸せに

幸せになる主人公	立場や
----------	-----

あるお母さん	子どもか
--------	------

地球	温暖化
----	-----

北極のシロクマ	温暖化
---------	-----

物語を話して誰に共感してもらいた

物語の主人公	物語を話
--------	------

あるお母さん	PTAなど子育て関係者
--------	-------------

地球	保育園の先生
----	--------

北極のシロクマ	保育園の先生
---------	--------

- ・主人公が困っていたこと
- ・困っていた原因
- ・「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと
- ・「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか
- ・「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか
- ・それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか

		共感する・共感しない	共感する・共感しない
あるお母さん	PTAなど子育て関係者	○共感する・共感しない	自分と同じ立場なのでわかりやすい
地球	保育園の先生	共感する・○共感しない	対象が大きすぎるので小さい子にはわからない
北極のシロクマ	保育園の先生	○共感する・共感しない	子どもはシロクマが好きだから積極的に参加するに違いない
		共感する・共感しない	

主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる)

物語を話す対象	PTAなど子育て関係者	保育園の先生
選んだ物語の主人公	あるお母さん	北極のシロクマ
主人公が困っていたこと	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物の大切さがわかってもらえない	北極の氷が早く溶けるので餌を充分にとれない。こぐまを育てるのも大変。
困っていた原因	環境の大切さを子どもにわかりやすく教えてもらう機会がない	人間のせいで地球の温度が変わって、迷惑している。
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと	環境の大切さを教えてくれる機会があれば、「もったいない」の気持ちが子どもに生まれる	自分たちシロクマが困っていることを、人間の子どもに教えてくれるX博士という人がいる。この人にたくさんのこどもに教えてもらえば人間も少しはまともになるのだろう。
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか	X博士のクイズゲームのチラシをもらった。子どもが楽しめそうなプログラムなので連れて行った。	X博士のクイズゲームで人間のこども達が楽しく学び、少しは考えるようになる。
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか	クイズゲームにすごく楽しく参加して、家に帰ってから「電気はすぐ消さなきゃダメ！」言うようになった。	環境のことを考える人間が増えて、温暖化に歯止めがかかるに違いない。
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか	お母さんは、子どもが「もったいない」と思うようになったことに大満足。	北極もこれ以上状況が悪化せず、自分たちシロクマも生きていける。

物語を発表、感想

- 結果を発表！
- 発表者相互の感想
- フロアからの感想

最後に…

- 説明する相手が話を聞いてくれるようにするため、相手の立場で考えることが重要です。
- 主人公を相手側において同じ立場で話を考えてみましょう。
- SDGsへの貢献という内容は、身近な物語にすることにより聞いてもらいやすくなります。
- 試行錯誤しながら、聞いてもらえる物語を作りましょう。

